

- 合の部事より各藩署より家丁屋二十五日傳更り全縣火出願
- 正月二十四日天鼓川の空襲の被害の調査に就き、その結果を二月二十二日府
- 十、縣並に各藩署
- 81、令國の華籍の子弟の教育を奨励し、その方法を調査せしむ
- ハ、衛生委員の改選
- ニ、大山轉運の設立
- ト、税関の常設
- ロ、縣樂隊の増設
- SI、一、縣警署の改組
- II、公庫増額金の十日以内の交付の旨を決定せしむ
- 0、縣警の會館直轄移設
- 8、縣警會の間の朝朝警察支隊の公備並に警備費の増額
- 9、縣警會の間の朝朝警察支隊の公備並に警備費の増額

財團人財團會福岡出張所

財團人財團會福岡出張所

合會本部に來援を求めたのである

この突然の罷業に獲損した會社側は二十五日朝首腦部會議を開き、勞務行政上要求は斷乎排撃することを甲合せ、勞働主任をして爭議團側と會見せしめ、團体的交渉に因らざれば善處する旨通告したるも拒絶せられた。

會社側の甲込を拒絶したる直後、全總九州聯合會より主事代理元阪順次が白米二十俵を携へて來着したる爲、爭議團は益々氣勢を昂げ、同日午後四時要求書を提出したるも、突返され遂に提出し得ず、本部に引揚げ協議を續け、翌二十六日爭議團員家族救援と稱し、白米の中にアジピラを入れて分配する外、凡ゆる方法を以て宣傳したる結果、同日夜より坑内夫九名の團員獲得に成效した。

此の間、會社側は筑豊石炭鐵業互助會關係の各炭坑より勞務係